

「教員としての資質の向上に関する指標」に基づいて、身に付けていると考える資質・能力や実際の業務との関連、さらに資質・能力を向上させるための活動について自己分析しましょう。個人による省察に加え、管理職や同僚との対話の場面など、自身にとって必要な学びを主体的にマネジメントするためのツールとして活用してください。

教員に求められる資質・能力

自己分析ツール

〇〇立〇〇学
〇〇 〇〇

こちらに「所属」「氏名」「作成日」を記入します。

所属	〇〇立〇〇〇〇学校
氏名	〇〇 〇〇

作成日	7月20日
-----	-------



キャリア段階	1 段階		2 段階		3 段階		4 段階	
	基礎形成期 (目安：1年目～3年目)		伸長期 (目安：4年目～10年目)		充実期 (目安：11年目～20年目)		貢献期 (目安：21年目以降)	
資質・能力	基礎に立つことで身に付けておくべき、教職の基礎・基本を築き上げようとする。		教職実践に努め、組織に係る基礎的能力を伸ばそうとする。		教員集団のリーダーとして、自身の専門性を築き上げようとする。		これまでの経験を生かし、幅広い視野をもって学校運営及び教員の成長に関わろうとする。	
学習指導	授業構成・評価計画 Plan	本時のねらいに応じたための設定やまめを考え、本時の保育・授業計画を立てようとする。先駆者の助言を得ながら単元計画や評価計画を立てることができる。	教材や教員、環境構成を工夫しながら、子供の姿を踏まえた本時の保育・授業計画を立てるとともに、付いた力を明確にし、見直しをもって単元計画や評価計画を立てることができる。	カリキュラム・マネジメントに基づき、指導と評価が一体化された保育・授業計画を立てるとともに、学年や単元間の系統性を意識し、ねらいに沿った単元計画や評価計画を立てることができ、また、同僚や若手教員が作成した単元計画や評価計画についての的確な指導・助言を行うとともに、改善に係る具体的な代替案を示すことができる。	カリキュラム・マネジメントに基づき、指導と評価が一体化された保育・授業計画を立てるとともに、学年や単元間の系統性を意識し、ねらいに沿った単元計画や評価計画を立てることができ、また、同僚や若手教員が作成した単元計画や評価計画についての的確な指導・助言を行うとともに、改善に係る具体的な代替案を示すことができる。	カリキュラム・マネジメントに基づき、指導と評価が一体化された保育・授業計画を立てるとともに、学年や単元間の系統性を意識し、ねらいに沿った単元計画や評価計画を立てることができ、また、同僚や若手教員が作成した単元計画や評価計画についての的確な指導・助言を行うとともに、改善に係る具体的な代替案を示すことができる。	カリキュラム・マネジメントに基づき、指導と評価が一体化された保育・授業計画を立てるとともに、学年や単元間の系統性を意識し、ねらいに沿った単元計画や評価計画を立てることができ、また、同僚や若手教員が作成した単元計画や評価計画についての的確な指導・助言を行うとともに、改善に係る具体的な代替案を示すことができる。	
	学習指導・評価技術 Do	子供の発言や机間指導により、子供の反応や理解を確かめながら保育・授業を行うとともに、子供の理解度を、設定した目標・評価基準により評価・支援することができる。	子供のつぶやきや反応に適切に対応しながら、保育・授業を行うとともに、学習状況に応じて、子供に適切な評価・支援を行うことができる。	保育・授業中に、子供一人一人の理解度を発言や机間指導により把握し、子供の理解度に応じた効果的な指導ができる。また、子供の学習状況に応じて適切に評価・支援を行い、それらを取り取り、次時以降の保育・学習指導計画の修正に生かすことができる。	保育・授業中に、子供一人一人の理解度を発言や机間指導により把握し、子供の理解度に応じた効果的な指導ができる。また、子供の学習状況に応じて適切に評価・支援を行い、それらを取り取り、次時以降の保育・学習指導計画の修正に生かすことができる。	保育・授業中に、子供一人一人の理解度を発言や机間指導により把握し、子供の理解度に応じた効果的な指導ができる。また、子供の学習状況に応じて適切に評価・支援を行い、それらを取り取り、次時以降の保育・学習指導計画の修正に生かすことができる。	保育・授業中に、子供一人一人の理解度を発言や机間指導により把握し、子供の理解度に応じた効果的な指導ができる。また、子供の学習状況に応じて適切に評価・支援を行い、それらを取り取り、次時以降の保育・学習指導計画の修正に生かすことができる。	保育・授業中に、子供一人一人の理解度を発言や机間指導により把握し、子供の理解度に応じた効果的な指導ができる。また、子供の学習状況に応じて適切に評価・支援を行い、それらを取り取り、次時以降の保育・学習指導計画の修正に生かすことができる。
	授業研究・授業改善 Check Action	日々の保育・授業実践を振り返り、自身課題を把握・分析し、改善することができる。	進んで研究保育・研究授業等を行い、授業実践の積み上げによる多様な指導方法を探究することができる。	進んで研究保育・研究授業等を行い、授業実践の積み上げによる多様な指導方法を探究することができる。	進んで研究保育・研究授業等を行い、授業実践の積み上げによる多様な指導方法を探究することができる。	進んで研究保育・研究授業等を行い、授業実践の積み上げによる多様な指導方法を探究することができる。	進んで研究保育・研究授業等を行い、授業実践の積み上げによる多様な指導方法を探究することができる。	進んで研究保育・研究授業等を行い、授業実践の積み上げによる多様な指導方法を探究することができる。
生徒指導	個に対する支援	子供の内面を共感的に理解し、校内組織の助言を得ながら、適切な指導・援助ができる。	子供の生活態度等の言葉・行動から、適切な指導・援助ができる。	子供の生活態度等の言葉・行動から、適切な指導・援助ができる。	子供の生活態度等の言葉・行動から、適切な指導・援助ができる。	子供の生活態度等の言葉・行動から、適切な指導・援助ができる。	子供の生活態度等の言葉・行動から、適切な指導・援助ができる。	
	集団に対する支援	子供は集団の中で育つことを理解し、校内組織等の助言を得ながら、規律のある望ましい集団づくりを行うことができる。	子供同士が高め合おうと努め、校内組織等の適切な指導・援助ができる。	子供同士が高め合おうと努め、校内組織等の適切な指導・援助ができる。	子供同士が高め合おうと努め、校内組織等の適切な指導・援助ができる。	子供同士が高め合おうと努め、校内組織等の適切な指導・援助ができる。	子供同士が高め合おうと努め、校内組織等の適切な指導・援助ができる。	子供同士が高め合おうと努め、校内組織等の適切な指導・援助ができる。
	社会的資質・能力の発達支援	社会と関わりあう意欲や態度の育成について、校内組織等の助言を得ながら、適切な指導・援助ができる。	社会に貢献しようとする意欲や態度の育成について、校内組織等の助言を得ながら、適切な指導・援助ができる。	社会に貢献しようとする意欲や態度の育成について、校内組織等の助言を得ながら、適切な指導・援助ができる。	社会に貢献しようとする意欲や態度の育成について、校内組織等の助言を得ながら、適切な指導・援助ができる。	社会に貢献しようとする意欲や態度の育成について、校内組織等の助言を得ながら、適切な指導・援助ができる。	社会に貢献しようとする意欲や態度の育成について、校内組織等の助言を得ながら、適切な指導・援助ができる。	社会に貢献しようとする意欲や態度の育成について、校内組織等の助言を得ながら、適切な指導・援助ができる。
特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	特別な配慮や支援を必要とする子供の発達段階や特性を理解し、関係者等との連携により、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。	特別な配慮や支援を必要とする子供の発達段階や特性を理解し、関係者等との連携により、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。	特別な配慮や支援を必要とする子供の発達段階や特性を理解し、関係者等との連携により、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。	特別な配慮や支援を必要とする子供の発達段階や特性を理解し、関係者等との連携により、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。	特別な配慮や支援を必要とする子供の発達段階や特性を理解し、関係者等との連携により、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。	特別な配慮や支援を必要とする子供の発達段階や特性を理解し、関係者等との連携により、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。	特別な配慮や支援を必要とする子供の発達段階や特性を理解し、関係者等との連携により、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。	
自身の強みを生かした具体的な業務	プロフェッショナル教育に関する基本理念について理解し、合理的配慮を講じた指導・支援及び学級経営等ができる。	プロフェッショナル教育に関する基本理念について理解し、合理的配慮を講じた指導・支援及び学級経営等ができる。	プロフェッショナル教育に関する基本理念について理解し、合理的配慮を講じた指導・支援及び学級経営等ができる。	プロフェッショナル教育に関する基本理念について理解し、合理的配慮を講じた指導・支援及び学級経営等ができる。	プロフェッショナル教育に関する基本理念について理解し、合理的配慮を講じた指導・支援及び学級経営等ができる。	プロフェッショナル教育に関する基本理念について理解し、合理的配慮を講じた指導・支援及び学級経営等ができる。	プロフェッショナル教育に関する基本理念について理解し、合理的配慮を講じた指導・支援及び学級経営等ができる。	
伸ばしたい資質・能力と向上のための活動	授業におけるICT活用	学校におけるICT活用の意義を理解し、授業や校務等に積極的に取り入れることができる。	授業や校務等にICTを効果的に活用するとともに、子供の情報活用能力（情報モラルを含む。）の育成に向けた授業実践を行うことができる。	授業や校務等にICTを効果的に活用するとともに、子供の情報活用能力（情報モラルを含む。）の育成に向けた授業実践を行うことができる。	授業や校務等にICTを効果的に活用するとともに、子供の情報活用能力（情報モラルを含む。）の育成に向けた授業実践を行うことができる。	授業や校務等にICTを効果的に活用するとともに、子供の情報活用能力（情報モラルを含む。）の育成に向けた授業実践を行うことができる。	授業や校務等にICTを効果的に活用するとともに、子供の情報活用能力（情報モラルを含む。）の育成に向けた授業実践を行うことができる。	
	外部講師と連携したふるさと学習の企画・運営	教育データを適切に活用することの意義や効果を理解し、個別最適で効果的な学びや支援において適切に活用することができる。	個々の子供に応じた学習指導と生徒指導等の改善のため、教育データを適切に活用するとともに、効果的な指導等の改善に向けてデータ活用の提案ができる。	個々の子供に応じた学習指導と生徒指導等の改善のため、教育データを適切に活用するとともに、効果的な指導等の改善に向けてデータ活用の提案ができる。	個々の子供に応じた学習指導と生徒指導等の改善のため、教育データを適切に活用するとともに、効果的な指導等の改善に向けてデータ活用の提案ができる。	個々の子供に応じた学習指導と生徒指導等の改善のため、教育データを適切に活用するとともに、効果的な指導等の改善に向けてデータ活用の提案ができる。	個々の子供に応じた学習指導と生徒指導等の改善のため、教育データを適切に活用するとともに、効果的な指導等の改善に向けてデータ活用の提案ができる。	個々の子供に応じた学習指導と生徒指導等の改善のため、教育データを適切に活用するとともに、効果的な指導等の改善に向けてデータ活用の提案ができる。
「授業研究・授業改善」	研究授業と検討会の実施（△月）	研究授業と検討会の実施（△月）	研究授業と検討会の実施（△月）	研究授業と検討会の実施（△月）	研究授業と検討会の実施（△月）	研究授業と検討会の実施（△月）	研究授業と検討会の実施（△月）	
「障害特性に応じた指導・支援」	□□□研修の受講（△月）	□□□研修の受講（△月）	□□□研修の受講（△月）	□□□研修の受講（△月）	□□□研修の受講（△月）	□□□研修の受講（△月）	□□□研修の受講（△月）	
「学校組織の一員としての行動」	会議において積極的に意見を述べたり、日常的に同僚と情報共有したりする。	会議において積極的に意見を述べたり、日常的に同僚と情報共有したりする。	会議において積極的に意見を述べたり、日常的に同僚と情報共有したりする。	会議において積極的に意見を述べたり、日常的に同僚と情報共有したりする。	会議において積極的に意見を述べたり、日常的に同僚と情報共有したりする。	会議において積極的に意見を述べたり、日常的に同僚と情報共有したりする。	会議において積極的に意見を述べたり、日常的に同僚と情報共有したりする。	

指標の各項目に表された資質・能力について、身に付けていると考えるものは、そのセルをクリックします。

← 分析結果は左のレーダーチャートに反映されます。

自己分析した結果に基づいて、自身の強みが生かされていると感じる現在の業務、又は過去に取り組んだことのある業務を記載します。

自己分析した結果に基づいて、今後伸ばしたいと考える資質・能力と、その向上を目指すために具体的にどのような活動を計画するかを記載します。